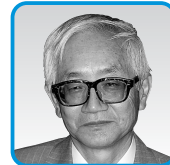


新たな東郷を目指す 第5次総合計画は



石川 正議員

【議員】平成23年度から第5次総合計画がスタートする。第4次総合計画にある56の基本目標の達成状況は。

【企画部長】平成20年度末で達成率624%である。

【議員】第5次総合計画の町が目指す方向、重要施策は。

【町長】第4次総合計画はしっかりと精査したい。人口予測をしっかりと行い①少子高齢化社会への対応②自助・共助・公助によるまちづくり③環境への対応を行う。近隣と横並びではなく、光る何かを見い出したい。

【議員】第5次総合計画の展開スケジュールは。

【企画部長】平成21年10月～22年8月に基本構想、22年9～10月にパブリックコメント、11月基本構想のまとめを考えている。

随意契約の透明化を

【議員】委託料は平成20年度一般会計で約12億円、

予算の約12%。このうち約90%が随意契約である。随意契約の契約金額の率（対予算額）は、平成19年度0.8、20年度1.0と高い。この数値をどう思うか。

【総務部長】随意契約は競争原理が働きにくく高いという認識はある。よく精査していきたい。

【町長】一般競争入札を増やすなど、制度改革をやってきた。意識改革を進め随意契約の透明性を高めていきたい。

【議員】委託業務の評価はどうなっているか。

【総務部長】各課での実施だがバラツキがある。評価方法を平成22年度運用で明確にしたい。

【議員】契約区分等各部で契約工事データが違ふ。

【総務部長】随意契約がイドラインを今年度10月をめどに整備したい。

【町長】随意契約の全体把握が難しい。改善し、契約の透明性を高めたい。

一般質問

認知症になっても安心な町づくりを



山下律子議員

【議員】部田地区をモデル地区として認知症地域資源マップづくりを行ったが今後の予定は。

【福祉部長】新たな地区版のマップは予定していない。現行の町全体版マップをより効果的な支援ができる内容で改訂版として発行していく。

【議員】町のホームページにマップを掲載しては。

【福祉部長】今後、閲覧できるようにしていく。

認知症グループホームの質の向上を

【議員】町内にあるグループホームに対して、町の指導監査の状況は。

【福祉部長】本町にある事業所が本年度中に更新時期を迎えるため、これにあわせて、実地指導に入りたい。そのための実施要綱・マニュアル等を早急に整備する。

【議員】事業者の質の向上にむけて、どう取り組んでいく予定か。

【福祉部長】グループホームだけを対象とした研修などは今のところ考えていないが、研修等の情報提供などを積極的に実施していく。

【議員】東郷町での認知症高齢者の数は。

【福祉部長】平成20年で49人、22年で54人、27年では71人になると推計する。

【議員】在宅で一人暮らしの方や、高齢者だけの世帯を支えていくために、小規模多機能型居宅介護を整備していく必要性があるのではないかと。

【福祉部長】必要なサービスであると認識している。サービス提供の基盤整備に努めたい。

食育計画の整備を

【議員】食の重要性を考えた食育推進計画の策定を。

【健康部長】健康推進計画「いきいき東郷21」の中で食育推進計画を定めていく。